

# 新羽地区

## 地域福祉保健計画

(計画期間：平成 18 年度～22 年度)

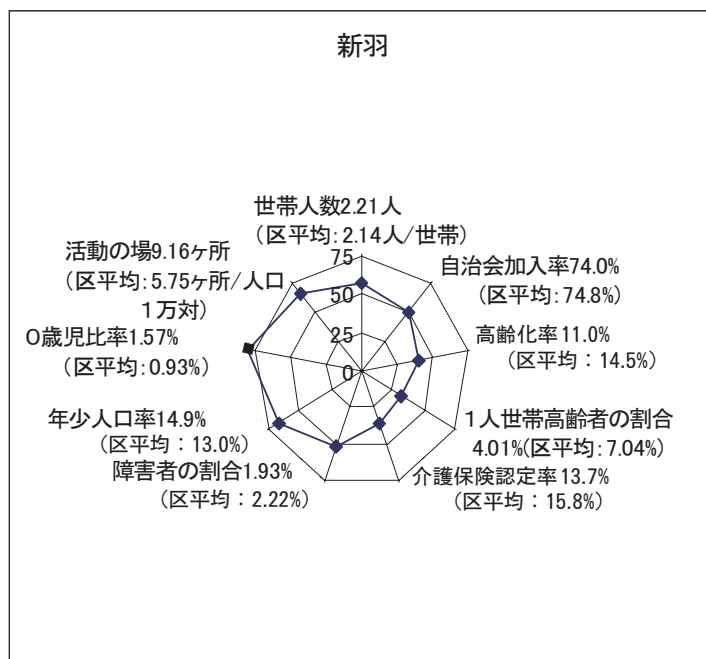
# I 新羽地区の現状と課題

## 1 新羽地区の特徴

新羽地区は、新羽町、北新横浜をその範囲としています。総人口は12,003人、老年人口よりも年少人口の方が多く、14歳以下の年少人口の割合は14.9%で13地区の中で2番目に高く、0歳児の割合は1.57%で最も高くなっています。新羽地区には8つの自治会町内会があります。

新羽地区は小さな工場や畑が多く、周辺の戸建て住宅は高齢化が進んでいる一方で、地下鉄沿線にマンションが新設され、若年者世代の流入が続いています。地域に保育園・幼稚園が少なく、新横浜、大倉山に出る必要があります。

地区センター等では子どもから高齢者まで活動が盛んですが、公園が少なく、戸外で活動できる場所が十分ではありません。



## 2 新羽地区の課題

### ① 交流

○時代とともに親の価値観も変化し、また考え方は人それぞれですが、子ども会に入っていない小学生は増加し、積極的に子ども会の役員を務める保護者も減ってきています。子育て世代の交流グループは活動していますが、同世代の親がさらに交流を深めていくための機会や場が必要とされています。

○高齢者と子どもたちとのふれあいの機会がない、住民相互のふれあい（特にマンションに住んでいる人と）がないと感じている市民がいます。しかし、これまで老人会と学校との関係が深いという強みを持つ地域です。学校を核とした交流や子どもを接点としたその親との交流など、世代を越えた交流の工夫をしていくことが期待されます。

○障がい児者をめぐっては、障がいがない市民は関わりの機会がないと感じている反面、当事者は市民の障がいに対する理解が薄いと受けとめています。障がいがない地域の市民の、理解と関心をいかに高めていくかが課題です。このためには、地域の作業所などからの市民への働きかけも重要となります。

### ② 情報・相談

○毎日の暮らしの中で情報は重要ですが、必要な情報がそれを必要とする人に適切に届いていないという課題があります。町内会に入らないと情報が入りにくいという面もあります。積極的に情報を得ようとする一人ひとりの姿勢が大切である一方、いろいろな情報が確実に市民に伝わるための工夫やしぐみが求められます。

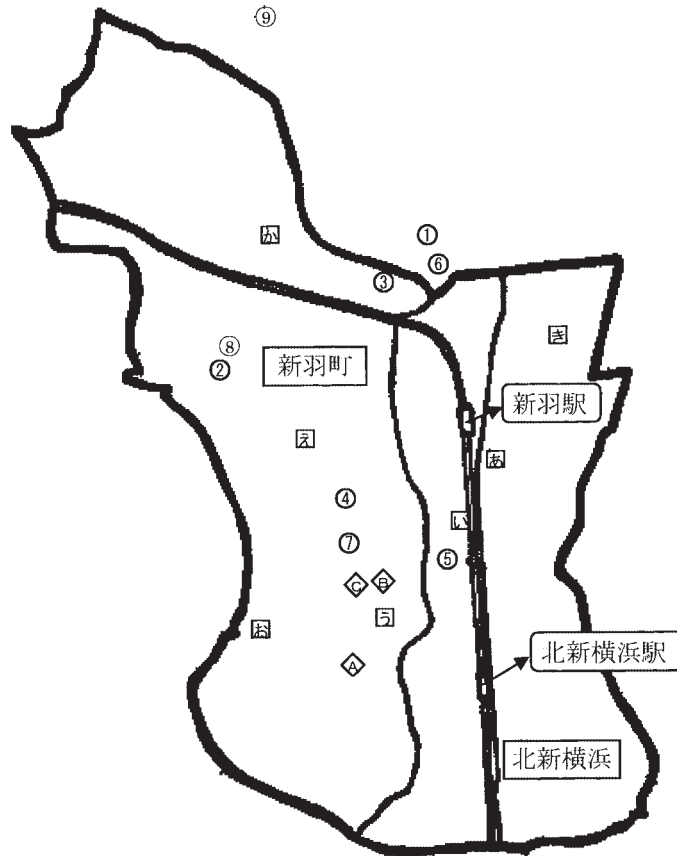
### ③ 場・拠点

○子どもの遊び場、高齢者の活動の場など、地域の中で拠点や場が不足しているという声がたくさん聞かれます。

#### ④ ボランティア・担い手

○新羽地区のボランティア活動は、これまでに比べ活発になってきました。しかし現在、後継者の確保、男性ボランティアの不足をはじめとする課題を抱えています。

### 3 地域の拠点や福祉保健の取り組み状況



#### < 保育園・小中学校 >

No.	活動場所	活動の内容等 ・ 【活動団体名】
◇	おおつな森の保育園	
◇	市立新羽小学校	・ 学校開放
◇	市立新羽中学校	・ 学校開放

#### < 自治会館・町内会館等 >

No.	活動場所	活動の内容等 ・ 【活動団体名】
㊦	新羽町内会館	
㊧	中之久保町内会館	・ 新羽赤ちゃん会月1回開催【区主催】 ・ 子育てサロンたんぽぽにっぽ月1回 ・ 老人会【亀楽会】
㊨	南町内会館	
㊩	新羽中央会館	・ 老人会【中央老人会】
㊪	大竹公民館	・ 老人会【大竹シニアクラブ】

No.	活動場所	活動の内容等 ・ 【活動団体名】
㊦	北新羽町内会館	・老人クラブ【北新羽のぞみ会】
㊧	新羽自治会館	・老人会【松寿会】

<福祉施設・公共施設・ボランティアグループなどの活動場所>

No.	活動場所	活動の内容等 ・ 【活動団体名】
①	新田地区センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体操クラブ【さわやかクラブ虹 月1回】 【さわやかクラブ 月2回】</li> <li>・新羽地区地域支え合い連絡会</li> <li>・子育てサークル【BSP・ミルクイーランド】</li> <li>・ミニデイサービス「新田クラブ」</li> <li>・中途障害者の会【港北あゆみ会】</li> <li>・子育て支援者の相談（毎金曜日）【区主催】</li> <li>・子育てサークルリーダー会【区主催】</li> </ul>
②	障害者地域作業所 ほっと・館 宇宙（そら）	・身体・知的障がいのある人が自主製品の製作などを行っています
③	新羽消防署	
④	新羽地区全域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新羽地区に居住者を対象にごみ出しなど日常生活の手助けを行うボランティア活動グループ 【ボランティア竹の子にっば】</li> </ul>
⑤	障害者地域作業所「かしの木ホーム」	・身体・知的障がいのある人が自主製品の製作などを行っています
⑥	新田公園	・公園あそびを月1回開催
⑦	新羽丘陵公園	・子供達が安全に安心して遊べるようにとの願いから、10数名のボランティアが活動【新羽丘陵公園愛護会】
⑧	介護老人保健施設カメリア	・日常生活動作のリハビリ等を行いながら、在宅生活復帰をめざす施設
⑨	新吉田地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者ミニデイサービス【もみじの会】</li> <li>・サークル【ソーイングボックス】</li> <li>・手話グループ【さくら手話の会】</li> <li>・親子ひろば「はぐ HUG」月1回開催 【地域ケアプラザ主催】</li> <li>・介護者のつどい【同上主催】</li> <li>・転倒骨折予防体操教室【同上主催】</li> <li>・パパの育児教室【区・地域ケアプラザ共催】</li> </ul>

## Ⅱ 新羽地区の行動計画

### 1 新羽地区のスローガン

- (ア) 生涯現役、高齢者が力を発揮できるまち 新羽
- (イ) お互いにささえあえるまち 新羽
- (ウ) 一人ひとりが地域に関心を持っていけるまちにしよう
- (エ) 子どもが成長したとき、地域におかえしする気持ちを持てるようなまちづくりをしよう
- (オ) あいさつを通してお互いに知り合い、誰でも安心できるまちにしよう

### 2 行動計画（具体的な取り組み）

#### (1) 一人ひとりの市民自らの取り組み

- 親も子もすれ違った人とあいさつを交わしていきます。
- 行事などのお知らせを回覧だけでなく直接声をかけていきます。
- 子どものクラスメイトに声をかけていきます。
- 一声かけ運動をすすめていきます。
- 毎日外に出て行こうとする姿勢を大切に、意識的に前向きに過ごすようにします。
- ふれあい給食会に民生委員が参加して、顔を覚えてもらいます。
- 回覧板で学校の行事などを把握していきます。
- 短時間でも、必ず地域の行事に参加していきます。
- パソコン、ネットワーク、メールなどをきっかけに新しいコミュニケーションを発展させていきます。
- 障がい者と接した事がなく、不安に思っているヘルパーに対して、障がいのある自分の子どもと積極的に接してもらうことにより、交流の場をつくっていきます。

### 新羽地区地域懇談会の様子



- 新羽地区地域懇談会
- 第1回 平成17年7月31日(日)  
午後1時30分～3時30分  
新羽小学校 体育館
  - 第2回 平成17年8月27日(土)  
午後3時～5時  
新羽小学校 音楽室

(2) 地域での取り組みとそれを支える取り組み

① 交流

今後の具体的な取り組み		H18	H19	H20	H21	H22
交流の仕組みづくりをするために	<地域・みんなの取り組み>					
	○保護者同士が顔見知りになれる場、働きかけができる場をつくっていきます。	検討				→
住民同士の交流促進のために	<地域・みんなの取り組み>					
	○参加したいという本人の意志を、家族が後押しをしていきます。	●				→
	○尊敬する心、あいさつする姿勢を学校や家庭で教えていきます。	●				→
	○町内会に入っていない人にも情報を伝えるため、祭りのPRチラシなどを駅においていきます。	検討				→
障がいを持つ方を理解し地域と交流していくために	<地域・みんなの取り組み>					
	○町内会として作業所などを見学する企画を検討していきます。	検討				→
	○地域の人々が障がいについて理解する学習の場をつくっていきます。	検討				→
	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）>					
	○地域作業所は、地域の人に活動内容を理解してもらおう機会を積極的に設けます。	検討				→
地域住民の交流と情報伝達の方法を確立するために	<地域・みんなの取り組み>					
	○昔のように学校が地域コミュニティの中心となるよう検討していきます。		●			→
	○同一の意識を持つことにより、自治会は防災のための組織づくりを考えていきます。		●			→
	○同好の士の集まりで、地域の話を取りあげていきます。	●				→
	○子ども会行事への参加を得るため、自治会の回覧に「学校だより」をのせていきます。	検討				→

② 情報・相談

今後の具体的な取り組み		H18	H19	H20	H21	H22
地域の情報共有のために	<地域・みんなの取り組み>					
	○お互いが声をかけあい、コミュニケーションを広めていきます。	●				→
	○学校が地域コミュニティの中心になるように回覧板やHPを活用していきます。	検討				→
	○自治会などの組織づくりを考えていきます。	検討				→
	○町内会と子供会や老人会、PTA等と連携して未加入世帯の町内会加入を促進します。	検討				→
	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）>					
	○地域の介護教室、防災訓練などを通して交流を深めていきます。	●				→

### ③ 場・拠点

	今後の具体的な取り組み	H18	H19	H20	H21	H22	
子どもの遊び場と遊び方を充実させるために	<地域・みんなの取り組み>						
	○町内で外遊び体験の場を開催し、高齢者から子どもへ遊び方を伝授していきます。		●	→			
	○子ども会の役員を、「保護者」だけでなく、地域の人からも出せるように検討していきます。	検討					→
	○子ども会の規約を見直し、入りやすくしていきます。	検討					→
	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）>						
	○丘陵公園に高齢者が集まる場を作り、高齢者と子どもの交流をすすめていきます。	検討				→	
高齢者の活動の場をつくっていくために	<地域・みんなの取り組み>						
	○老人会でも幅広い活動（趣味の会など）を導入していきます。	●	→				
	○敬老会、老人会、65才以上の人との連携、ボランティアとの連携を検討していきます。	●	→				
	○元気な高齢者をボランティアに勧誘し、活用していきます。	●	→				
	○地区社会福祉協議会や敬老会の活動を活発にし、高齢者にも声をかけ盛り上げていきます。	検討					→
	○高齢者でなければできないことについて、ボランティアとの連携をとっていきます（子育てのボランティアが必要な時に声かけするなど）。	検討					→
	○ボランティア活動を通じてネットワークを広げていきます。	検討				→	
障がいを持つ方の就労支援を進めるために	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）>						
	○新羽地区の工場などから仕事を提供されることで交流を図っていきます。	検討				→	

### ④ ボランティア・担い手

	今後の具体的な取り組み	H18	H19	H20	H21	H22
ボランティアの人材確保と育成へ向けた仕組みづくりのために	<地域・みんなの取り組み>					
	○自治会町内会とタイアップしてボランティアを確保していきます。	●	→			
	○回覧ではなく全戸配布方法を実施していきます。	●	→			
	○町会の会報の中に埋もれないインパクトのあるPR方法を工夫します。	検討				
	○口コミを有効な方法として最大限活用していきます。	検討				→
地域のニーズを踏まえたボランティア活動内容や活動方法の検討のために	<地域・みんなの取り組み>					
	○事故の問題もあるため、移送サービスのボランティアについて勉強会を行います。		●	→		
	○漠然としたボランティアでは参加しにくいので、目的を明示したボランティア募集を行います。	検討				→

### ⑤ 安心・安全

	今後の具体的な取り組み	H18	H19	H20	H21	H22
子どもの安全・安心の確保のために	<地域・みんなの取り組み>					
	○自治会町内会で街灯設置を検討していきます。	●	→			